

2液型溶剤系塗料仕様

バスピュアコート（アクリル変性ウレタン）

パイロキープ TS2000（アクリル変性シリコン）

ステンレスバス

塗装仕様・施工要領書

平成31年3月作成

株式会社 彩色工房

ステンレスバスの塗装施工要領

① 塗装面の研磨目粗し（足付け）をします。（手研磨又は電動工具研磨）



ステンレス研磨にはジスク粒度#40 番程度の極粗目で写真みぎ上の様に深く研磨します。全面を丁寧に研磨して下さい。コーナー入隅部等はスポンジジスク粗目が研磨しやすいです。入隅部は研磨しづらい上、体脂肪等の油分も残りやすい箇所です。丁寧に研磨の上シンナー脱脂清掃も丁寧に行ってください。

② 強制乾燥。



ドレン周りの水分はドライヤーで強制乾燥します。水分残りは剥離の要因となります。

③ テープ養生



強制乾燥後金物等はテープ養生します。

④ シーリング



※元々のシーリングはほとんどシリコンシーリングが打ってあります。

シリコンシーリングの上に塗装した場合は密着しないで剥がれてしまいます。変性シリコンシーリングに打ち直して塗装する。又はシリコンシーリングは一旦除去して塗装完了後に再度シリコンシーリングを打ち直す等の打ち直し処理が必要です。※シリコンシーリングに触れた軍手等で塗装面を触ると塗装ハジキの原因となりますのでご注意ください。塗装直前には十分なシンナーによる脱脂清掃が必要です。

⑤ 脱脂清掃



シリコン分、油分の付着は早期の塗膜剥離の原因となります。

す。ウエスを交換して2度のシンナー脱脂清掃を塗装直前に行ってください。

以上がステンレスバスの前処理です。

① 塗装作業(共通)



刷毛塗りは抜け毛もゆず肌も少なく推奨です。刷毛は溶剤用(万能型)ナイロン刷毛が推奨です。

柔らかで埃噛みが少なく抜け毛も比較的少ないです。3~7 cm幅程度。金物周り用に小刷毛もご用意下さい。

バスピュアコートは刷毛塗りローラーの作業性良好です。指触乾燥が早くDIYに適します。

パイロキープの刷毛塗りは比較的刷毛スベリが悪い為、中級者~上級者が適します。手慣れた方の塗装では大変綺麗に艶々に仕上げられます。(パイロキープのローラー作業は泡噛みが多く不可です)



カップガンでの吹付け塗装景です。

ウレタン塗装同様の1.2~1.5 mmチップで吹付けます。十分なマスク養生と換気を検討下さい。

バスピュアコートの吹付けでは速乾性が有りますので作業性は良いですが反面にミストかぶりが予想されます。よって硬化後にポリッシャーやコンパウンドによる仕上げ研磨が必要となる場合が多いです。

パイロキープは初期硬化が遅い為、吹付け作業ではミストかぶりは少なくレベリング性も良いです。インターバルフリーなので硬化促進剤(2%添加)を使用した短時間(1時間インターバル程度)での重ね塗りも可能です。上手く応用されれば大変作業効率の良い塗料です。



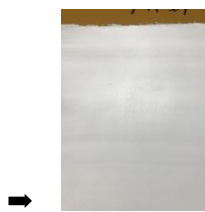
計量はデジタルの料理用秤計量(ホームセンターで2000円程度)を推奨します

下塗り：ステンレスベースコート JW 塗装です。



上塗り塗料の2倍程度の厚塗りをします。この厚塗り塗膜でステンレスバスの素地を平滑とします。
 800 g × 1 回塗りを目安に (主剤 700 g、硬化剤 100 g 混合 7 対 1 割合) 追っかけ 2 回塗りで厚付け塗装。
 防水強化して水と鋳物金属を厚付けにより縁切りします。平滑な素地を作り上塗りの美装に寄与します。
※硬化に 12 時間以上を要しますので研磨作業や上塗り塗装は翌日以降とします。

③ベースコート平滑仕上げ 十分な平滑面に素地調整する。



刷毛塗り、吹付け共、厚付け→研磨で表面を平滑に整える。

ウエスによる清掃後に上塗塗装に移ります。

付着・防水強化用厚塗り型塗材

品名	成分	荷姿	用途
ステンレス ベースコート JW	水処理用ポリアミ ドアミン硬化エポ キシ樹脂系塗料 (2液混合塗料)	主剤/硬化剤=7/1 4kg セット 主剤:3.5kg 硬化剤:0.5kg	下塗り 密着強化用 防水強化用 粗面カバー用
		1 kgセット 主剤:870g 硬化剤:130g 専用シンナー0.30付属	

- 販売元・仕様設計・製品企画 (株)彩色工房
- 商品名 ステンレスベースコート JW 白
(旧製品名) エポマリン JW
荷姿 4kg セット、1 kg セット (JW 専用エポキシシンナー付属)
- 商品名 JW 専用エポキシシンナー 10 缶、セット付属の 0.30 缶
希釈量 吹き付け: 10% ± 5% 刷毛・ローラー塗り: 10% ± 5%
- 塗り重ね時間 10℃: 最短 16 時間、最長 7 日 20℃: 最短 12 時間、最長 7 日
30℃: 最短 12 時間、最長 7 日 塗り重ねは翌日以降とする。
- 使用可能時間 3 時間 最大 3 時間以内で使い切ってください。
厚塗り用塗料。追っかけ 2 回塗り要領で厚付けする。シンナー調整により平滑に塗る。
- #200~#600 番のジスクを使い分け平滑で刷毛波、刷毛目の無い表面に研磨する。
※希釈溶剤は必ず専用シンナー (JW 専用シンナー) をご使用下さい。

塗装：バスピュアコート塗装



吹付け塗装も大変綺麗に仕上がりますが、刷毛塗り・ローラー作業性がとても良い塗料です。初期硬化(指触乾燥)が早く、とても手離れが良い為、DIY使用でも大変好評を頂いております。陶器、タイル、ポリエステル(FRP)塩ビ鋼板その他多種の素地に高密着する塗料です。詳細は弊社ブログもご参照下さい。

バスピュアコート規格

品名	成分	荷姿	用途
バスピュアコート	アクリル変性 ウレタン	主剤/硬化剤=8/2 16kg セット (主材： 12.8kg/缶、硬化剤：3.2kg/ 缶) 4kg セット (主剤：3.2kg/ 缶、硬化剤：0.8kg/缶) 2kg セット (主剤：1.6kg/ 缶、硬化剤：0.4kg/缶) (専用シンナー付属) 1kg セット (主剤：0.8kg/ 缶、硬化剤：0.2kg/缶) (専用シンナー付属)	仕上げ塗材

販売元・仕様設計・製品企画 株式会社彩色工房

商品名 バスピュアコート (日塗工調色又は彩色標準色)

有機溶剤の種類 主剤・硬化剤：第4類第2石油類

規格 16kgセット・4kgセット (白及び彩色標準色及び日塗工色見本合わせ)
 その他バスタブ用として1kgセット、2kgセットの荷姿対応しております。
 但しこの場合、白及び彩色浴槽用標準色のみとなります。
個別調色の場合は4kgセット以上の荷姿となります。

希釈溶剤 バスピュアコート専用シンナー（ウレタンシンナー代用可）
 シンナー希釈量 刷毛・ローラー塗り 10～15% 吹き付け 10～15%
 規格 特注小分け 10・その他 0.50はセット 1kgセットに付属しております。

使用可能時間 最大3時間ですが、1時間程度で塗り切れる量を小分けして下さい。
バスタブ小分け バスタブ1回塗り小分けは400g（主剤320g 硬化剤80g）が目安です。

バスピュアコート塗装要領

<p>1回目</p>	<p>バスピュアコート 標準色・指定色</p>	<p>バスピュアコートを規定の配合、適量で小分け混合し、手刷毛・ローラー（ローラーは※抜け毛の少ないウレタン・シリコン等強溶剤対応品、中毛スモール4インチ推奨）／スプレーガンにて均一に塗布する。低圧温風機は不適。 塗り重ねは1回目塗布後最短4時間以上空ける。 （翌日推奨） 硬化後ブツやゴミ噛みや刷毛目・刷毛ムラの有る場合は＃400～＃800番程度のジスクで研磨し表面を整える。</p>	<p>0.12～0.15 ×1回</p>
<p>2回目</p>	<p>バスピュアコート 標準色・指定色</p>	<p>バスピュアコートを規定の配合、適量で小分け混合し、手刷毛・ローラー（ローラーは※抜け毛の少ないウレタン・シリコン等強溶剤対応品、中毛スモール4インチ推奨）／スプレーガンにて均一に塗布する。低圧温風機は不適。 硬化後ざらつきやブツ肌が有る場合はコンパウンドやバフ使用で仕上げる。塗装終了後の養生時間は48時間以上（20℃）</p>	<p>0.12～0.15 ×1回</p>

※バスピュアコートの初期硬化（指触乾燥）は速乾ですが、本硬化、実用硬化は時間を要します。

特に厚塗りした場合、底部に溜まりが出来た場合は硬化が遅れます。ご注意ください。

よって2回目塗装は翌日が推奨です。

※上記の対策で業者様施工では硬化促進剤を2%程度添加される場合があります。

※現在バスピュアコートクリアーを耐熱テスト確認中です。

※ピンセットが有れば便利です。抜け毛、ゴミの付着を効率よく除去できます。

塗装：パイロキープTS2000



パイロキープは業者様の吹付け塗装で大変綺麗に仕上げさせて頂いております。吹付け作業性の大変良い塗料です。一方で刷毛塗り塗装で艶々で大変綺麗に仕上げさせて頂いている業者様もおられます。

ある程度のご経験、手慣れは必要の塗料かと思えます。

艶感や美装では特筆の塗料です。物性も耐久性、耐熱性、耐汚染性で大変優れた塗料です。

パイロキープはシリコンリッチの変性シリコン塗料につき反面で刷毛塗り作業では刷毛スベリが少し重たい、ブツ肌になり易い等で少々癖のある塗料でもあります。(ローラー作業は泡噛みが強く不可です)

標準仕様ではありませんが、クリアー仕上げでこれらの問題を解消されている業者様もおられます。

インターバルフリー（塗り重ね時間によるチヂミの心配が無い）塗料につき短時間で多工数が可能です。

吹付けでの上塗り工程で、2%の硬化促進剤を添加した施工では、

1回目の上塗り→1時間→2回目の上塗り→1～2時間→クリアー仕上げの半日施工も可能です。

(インターバルの1～2時間は指触乾燥の待ち時間です)

陶器、タイル、ポリエステル（FRP）他多種の素地に実績のある塗料です。

パイロキープTS2000 規格

品名	成分	荷姿	用途
パイロキープ TS2000	チタン酸カリウム ウイスキー含有特 殊アクリル変成シ リコン	主剤/硬化剤比 (カラーは7/3) (クリアーは65/35) 10kgセット (主材: 7kg/ 缶、硬化剤: 3kg/缶) 4kgセット (主剤: 2.8kg/ 缶、硬化剤: 1.2kg/缶) 2kgセット (主剤: 1.4kg/ 缶、硬化剤: 0.6kg/缶) 1kgセット (主剤: 0.7kg/ 缶、硬化剤: 0.3kg/缶) 0.5l専用シンナー付属	仕上げ塗材

製造 株式会社ビルドランド

販売元・仕様設計 株式会社彩色工房

○商品名 パイロキープTS2000 (日塗工調色及びクリアー)

有機溶剤の種類 主剤・硬化剤: 第4類第2石油類 (キシレンを含む強溶剤)

- 規格 10kgセット・4kgセット・2kgセット
（株式会社彩色工房にてバスタブ用として1kgセット荷姿にて小分け対応しております。但しこの場合、白及び彩色工房バス用標準色となります。）
 個別調色（日塗工合わせ）の場合は2kgセット以上の荷姿となります。
- 商品名 パイロキープ専用シンナー（キシレンを含む強溶剤）
 規格 40缶（石川県出荷） 10缶、0.50缶の付属シンナー（広島県出荷）
 （ウレタンシンナーでの代用可能です）
- 商品名 硬化促進剤 80gビン又はポリビン、200g缶（石川県、広島県出荷）
 （寒冷期や作業を急ぐ場合1～2%添加する）
- 可使時間 最大2時間ですが、1時間程度で塗り切れる量を小分けして下さい。
 （硬化促進剤を添加の場合は30分程度で塗り切れる量を小分けして下さい）
バスタブ小分け バスタブ1回塗り小分けは400g（主剤280g硬化剤120g）が目安です。



パイロキープ塗装要領

1回目	パイロキープ TS2000 標準色・指定色	パイロキープを規定の配合、適量で小分け混合し、シンナー調整する。手刷毛・（ローラーは泡噛みの為、不可）・スプレーガン等にて均一に塗布する。カップガン、低圧温風共可能。 塗り重ねは1回目塗布後 4時間以上空ける。 硬化促進剤2%添加では1～2時間空ける。 硬化後ブツやゴミ噛み有る場合は#400～#800番程度のジスクで軽く研磨し表面を整える。	0.12～0.15 ×1回
2回目	パイロキープ TS2000 標準色・指定色	パイロキープを規定の配合、適量で小分け混合し、シンナー調整する。手刷毛・（ローラーは泡噛みの為、不可）・スプレーガン等にて均一に塗布する。カップガン、低圧温風共可能。 半硬化は 20℃で6時間以上。 硬化促進剤2%添加での半硬化は1～2時間。 硬化後ざらつきやブツ肌有る場合はコンパウンドやバフ使用で仕上げる。 施工終了後の養生時間は48時間推奨。 (20℃)	0.12～0.15 ×1回

標準仕様ではありませんが、任意でパイロキープTS2000クリアー仕上げする場合があります。

※ピンセットが有れば便利です。抜け毛、ゴミの付着を効率よく除去できます。（必需品）



施工上の留意点(共通)

1. 施工前

- ① 5℃以上の環境温度が確保されている事を確認して下さい。
- ② 過湿状態での塗装（85%以上）は避けて下さい（透明度・艶が減少する場合があります）
- ③ 溶剤系塗料やシンナーを使用します。密室作業ですのでミストの排気、防毒マスクの着用、十分な換気、火気厳禁等厳守願います。



送風機での換気推奨（安全対策、乾燥の促進になります）

部屋を閉め切った養生はシンナー籠りとなり特に**バスタブ底部**の硬化が遅くなります。

その他注意点

- 大きなクラックが生じているものは塗装できません。→ライニング処理が必要となります。
- パテ使用の際は2剤型エポキシパテを使用。ポリパテは使用できません。
- 塗料は開封前、混合前に十分に攪拌して下さい。混合後は1分程度十分に混ぜ合わせて下さい。
- 小分け後は速やかに蓋を閉めて下さい。特に硬化剤は湿気硬化しますのでご注意下さい。
- 刷毛・ローラーは十分洗浄しても再使用出来ない場合があります。
- 溶剤型塗料につき換気には十分注意して下さい。ジェットヒーター等の火気に対しても十分注意して下さい。
- お風呂洗浄の際は中性洗剤を使用し、スポンジ等も塗膜を傷付けない物をご使用下さい。
- 入浴剤に硫黄系、唐辛子系等を使用した場合、着色する場合があります。
- 洗い場、腰壁、壁面塗装も基本ポリバス仕様に準じます。

※ (バス施工特記事項)

バスの塗装改修は仕上がり精度が主観となります。又難易度の高い施工となり仕上げ精度が施工者の熟練度に左右される場合が多い為、弊社ではこれの苦情は受けかねます。
安全管理～塗膜責任まで施工者の自己責任にてお願いしておりますので宜しくお願いします。
但し、塗料に著しい欠陥がある場合に限り、購入代金を上限とし責任を負うものとします。

以上